企業だって森づくり♪

山形県企業局 編

1. 山形県企業局について

地方公共団体は、一般的な行政活動のほか、水の供給や公共輸送の確保、医療の提供、下水の処理など地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供する様々な事業活動を行っています。こうした事業を行うために地方公共団体が経営する企業活動を総称して「地方公営企業」と呼んでいます。

山形県の地方公営企業である山形県企業局は、村山・最上・置賜・庄内の4圏域で水道用水を供給する「水道用水供給事業」、酒田・米沢・新庄の3カ所で工業用水を供給する「工業用水道事業」、水力発電及び太陽光発電の県内15発電所で電力の供給を行う「電気事業」並びに保有資産の運用、県営駐車場及び県民ゴルフ場の経営を行う「公営企業資産運用事業」の4事業について、これまでその時々の地域や社会の要請に対応した事業を展開しながら、県民福祉の向上と地域振興の一翼を担っています。

その中でも、特に水道用水供給事業・工業用水道・電気（水力発電）については、「自然の恵みを水と電気に。くらしを支え、みらいを創る山形県企業局」をキャッチコピーに、自然の恵みである水を活用して事業を運営しています。

2. 絆の森活動を始めたきっかけ

自然の恵みである水を活用する企業局では、その水源に位置する森林が良好に維持・管理されることが重要であることを認識し、水源域にあたる森林機能の維持・向上の一助となるよう、「やまがた絆の森プロジェクト」に企業の立場として参加することとしました。

3. これまでの活動について

村山広域水道用水供給事業の水源地である寒河江ダム近辺の土地所有者の西川町、森林所有者の本道寺地区会及び山形県と「やまがた絆の森協定」を平成26年度に締結しブナの植樹を行いました。

その後の活動としては、毎年、企業局職員自らが森づくり活動に参加し、下刈り作業と枝打ち・間伐作業を行っています。

現地作業の際は活動の場を提供いただいた西川町と本道寺地区会にも、ご参加していただくとともに、森林のプロである地元の西村山地方森林組合にも事前準備や現地指導など、ご協力をいただいています。

参加及び協力いただいている皆様には、この場を借りて感謝申し上げます。

4. 今後について

森林整備は10年20年の長いスパンでの実施が必要と認識し、この水源域を、良好な状態に維持していくため、「水源域の水環境を保全する活動の重要性を普及啓発すること、及び職員自らも森づくり活動に参加し体験・学習することが必要である。」と考え活動していきますので、今後もご指導やご協力を下さるよう関係者の皆様にお願いしたいと思います。

また、新たに多くの企業が参加する事により、関係する水源域の森林整備が図られ、将来的には河川の濁水防止にもつながることを期待します。

★やまがた絆の森づくり推進事業★
企業などと森林所有者と県との三者協定による森づくり活動。
令和2年8月末現在、38企業・団体、34箇所で活動を展開中。

読者プレゼント
抽選で山形県企業局から提供の「おいしい山形の水5本」を10名様にプレゼント。
詳しくはP.11をご覧ください。

なぜなに やま もり

山や森についてもっと知ろう！

森林火災はなぜおこるのか？

森林火災は、世界各地で見られる災害の1つです。その名のとおり、森林でさまざまな要因により火がつき、木々に燃え移って広がります。森林には、木々や枯れ葉など燃えやすい素材が多いため、ひとたび発生すれば大規模な火災になる可能性もあります。

森林火災の原因

1 人為的な原因

日本での森林火災の原因は、人為的な原因の割合が大きく、大半は、**たき火、野焼き、たばこの火の不始末**です。

2 自然発火の原因

日本ではまれですが、落雷と高温や乾燥が原因で森林火災が発生することがあります。

乾燥により落ち葉が枯れ、枯れ葉同士が摩擦して、火が点くと言われています。ここ数年は、気候変動や地球温暖化により、高温、乾燥、異常少雨や干ばつが起きやすく自然発火が起きやすくなっています。

森林火災を防ぐために私たちができること

- キャンプやバーベキューのときは「火の用心」に心掛けましょう！
- 野焼き、たばこの火の不始末に注意しましょう！

森林火災により木々や植物が失われると、二酸化炭素や有害物質が排出され
地球温暖化がさらに加速することになります。

※山形県では「やまがた緑環境税」を活用して、手入れの遅れた森林を整備しています。